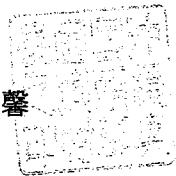


国建発第 336 号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

国頭村長 宮城 馨



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号にて依頼のありました標記の件について、
別紙のとおり回答します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案等

沖縄県 国頭村

①観光支援、道路景観の向上

- ・ 当村への観光支援、入域客増加のためにも、アクセス向上のみでなく、北部地域(ヤンバル)の景観を考慮した道路整備を行っていただきたい。

例えば、海岸沿いを走る道路景観は沖縄においても北部地域に特徴的なものだが、護岸や離岸堤の消波ブロックは景観上問題になっているため、景観に配慮した構造にするべきである。

②自然環境への配慮

- ・ 当村を含むヤンバル地域は山林が7割を占め、貴重な動植物の生息地であることから、これらの動植物の保全に配慮した道路整備を行っていく必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

沖縄県 国頭村

○現状

村道においては、車道部、歩道部、排水溝の劣化や、狭少により、車輛、歩行者の安全確保・雨水生活排水の処理機能の低下、電柱や電線による町並みの景観上の圧迫感がある。

○課題

地域住民、観光客入域客の安全確保の向上
又、商店街の活性化につなげていくため、左記の現状を改善する為、道路整備により快適性、景観性の向上を図る必要がある。
事業実施に向けては、本村の財政事情からして高率補助メニューの導入が望まれる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②-2 地域の目指すべき将来像

沖縄県 国頭村

- ・ 世界遺産、国立公園への登録が話題にのぼっている。北部地域(ヤンバルの森)に新規に道路を整備することは環境保全上無理がある。よって既存の一般国道58号及び県道のグレードアップ(高規格化)することにより拠点までの所要時間の短縮を図り地域振興、活性化及び安全、安心な暮らしの実現につなげる必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

沖縄県 国頭村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	・ 法定外(里道)は、ほとんどが昔のままで、整備されていない状況。 ・ 15m以下の橋梁の架け替えや補修の事業化(橋梁の高齢化による)	里道の改修工事や15m以下の橋梁の架け替えや補修については現在、補助メニューがなく村単費での整備になるため、本村の財政事情では厳しいところがあり集落同志の連携、村道国道との連結において格差が生じない整備が必要であり、それにより地域振興や地域活性化につながるものである。	
・ 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・ 平成19年度において、4件の災害復旧事業を実施、台風・大雨における法面、路肩の崩落は地域住民の生命を脅かし、日常生活に支障をきたすものである。	現在の補助事業メニューでは災害がおこってからの復旧事業メニューしかなく、住民の生命財産、生活を守るうえでも防除的な補助メニューがあれば法面崩落等の災害を最小限にくい止めることが出来地域住民の安全な生活を保障出来るものとする。	